安保・沖縄・6月斗争勝利

6・8 理工系(三校舎・2学部)総決起集会
PM1:00 理工6号館前
理工集会 PM12:00

6・9 東大日大理系安保沖縄討論集会
PM1:00 東大本郷工学部講堂

6・10 理工学部総決起集会(安保・沖縄・6月斗争勝利)
PM12:00 6号館前 1号館内集会貫徹!

6・13 6月安保斗争勝利、全国アクセルビッツ前
PM1:00 碓川公園

6・14 全日反戦・全日全共斗統一行動
PM1:00 代々木公園

6・5 坂大フラク PM4:30 法政6角3F
6・6 理工活動者会議 PM12:00 6号館2F

すべての神田地区の労働者学生、市民のみなさんへ
とりわけ日大全学共斗会議理工学部斗争委員会に結集するすべての学友諸君へ
5・23~5・29全国学園ゼネストは理工学部当局のロックアウト策動をはねのけて、50数名の結集をもって斗われた。
それらの首謀学部長を亡き以来、何等有効性をもたなくなった。ヌ号館サー連室、科学部室のロックアウトを現在も押し進めている。更に秘密教授会において6・11・6・14以後の安保政治決戦への反革命的なロックアウト策動をもくろんでいる。また、木村秀政を学部長にかつぎ上げる中で一見民主的な形の理工の統治をねらっている。
本学すべての学友諸君!こう言った形で現在的な共同体における帝国主義的な再編がなされつつあることが確認される。そのことは、土木の自主講座に見られる様な形での我々の、現在的な、教育条件に対する斗いに対して、権力は、アットム的な圧力をかけつつある。現在的に進みつつある日内の帝国主義的再編が、中教審路中に見られるような形で行なわれているだろうし、又、労働者の合理化がその物としてあり、東大の北病棟移転阻止斗争(6・3~6・4)に見られる医療の帝国主義的再編がある。又、水俣病に表われた、アルジョアジーの単的な才産もあり、こう言ったことが、日内重工業化としての日内再編成であり、それを持っての、アジア会議の外相参加という形での、アジアの盟主としての登場が、はかられている。このことを太平洋圏70年安保として取られ、我々は、この70年6月安保決戦を斗いぬかねばならないだろう。
この帝国主義ヌルジョアジーの持つ統才者に対して我々は、単なるタコツボ的な学内斗争又、労働戦線の単産運動で斗い切れることはない。この個別の持つ問題意識の共有をはかる物として地区的連帯をみすえて、我々の斗いをタコツボ的な斗いから、突破させて行かねばならない、このこととして、神田地区共斗という形で斗かわれる我々の斗いだろう!
さきに、69年以来我々と共に斗ってきた東大の学友諸君との連帯を69~70年の北病棟粉砕阻止斗争当々の土木、建築、薬学、細気戦線を中心として勝ちとってきた。まさに68~69年の全国学園斗争の中で提起された大衆武装の質を我々は、地区を保守とする中で全共斗、反戦の育成を行い、さらには大学別全共斗メソト、反戦を地区共斗の質で止揚する。また全国全共斗の最先端にたって斗い抜いている日大全共斗の最先端に立って領導し、自らの要求を通じて、70年代階級斗争に登場するであろう!
日大アクションユニット解体!
理工サークル室解放!

日大全共斗理斗委